

生体信号測定ソフトウェア

BioSig

マニュアル

第 1.500 版

2007年11月

株式会社 フルサワラボ・アプリケーションズ

有限会社 ブラウエル

目次

| | | |
|---------|--------------------|----|
| 1. | BioSig 概要..... | 2 |
| 2. | インストール..... | 3 |
| 3. | BioSigの起動..... | 4 |
| 3. 1 | ショートカットからの起動..... | 4 |
| 3. 2 | スタートからの起動..... | 4 |
| 4. | 画面構成..... | 5 |
| 5. | 基本機能..... | 6 |
| 5. 1 | File Select..... | 6 |
| 5. 1. 1 | グラフ表示..... | 7 |
| 5. 1. 2 | グラフの拡大表示..... | 8 |
| 5. 2 | Text File..... | 9 |
| 5. 2. 1 | Text Fileの形式..... | 9 |
| 6. | 処理中断..... | 10 |
| 6. 1 | File Select..... | 10 |
| 6. 2 | グラフ表示..... | 10 |
| 6. 3 | Text File..... | 10 |
| 7. | グラフ表示処理の選択..... | 11 |
| 7. 1 | 表示..... | 11 |
| 7. 2 | 非表示..... | 11 |
| 8. | 処理可能データ量（予測値）..... | 11 |
| 9. | グラフ分割表示..... | 11 |
| 10. | 仕様..... | 13 |
| 10. 1 | 生体信号測定装置..... | 13 |
| 10. 2 | パーソナルコンピュータ..... | 13 |

1. BioSig 概要

株式会社フルサワラボ・アプライアンスの生体信号測定装置を使用して MMC メディアに記録されたデータを読み込んで処理するソフトウェア。

測定データのグラフ表示、グラフの部分的拡大表示、測定データのテキストファイル出力の機能がある。

本システムは Windows 2000/XP/Vista 上で稼動する。

Windows95/98/Me では稼動しない。

2. インストール

CD-ROM を挿入すれば、自動的にインストールが開始される。

自動的に開始しない場合は、CD-ROM の「**setup.exe**」をダブルクリックしてインストーラを起動する。

画面に表示される指示に従って「次へ」ボタンをクリックし、**BioSig** をインストールする。

下記のディレクトリにインストールされる。

C:\Program Files\Blowell\BioSig

注：再インストールあるいは新バージョンをインストールする場合は、必ず既にインストールしてある版をアンインストールしてから行ってください。アンインストールは「プログラムのアクセスと既定の設定」を起動し、「プログラムの変更と削除」を実行して「BioSig」を指定して削除を実行します。

3. BioSig の起動

3. 1 ショートカットからの起動

デスクトップのショートカットをダブルクリックする。

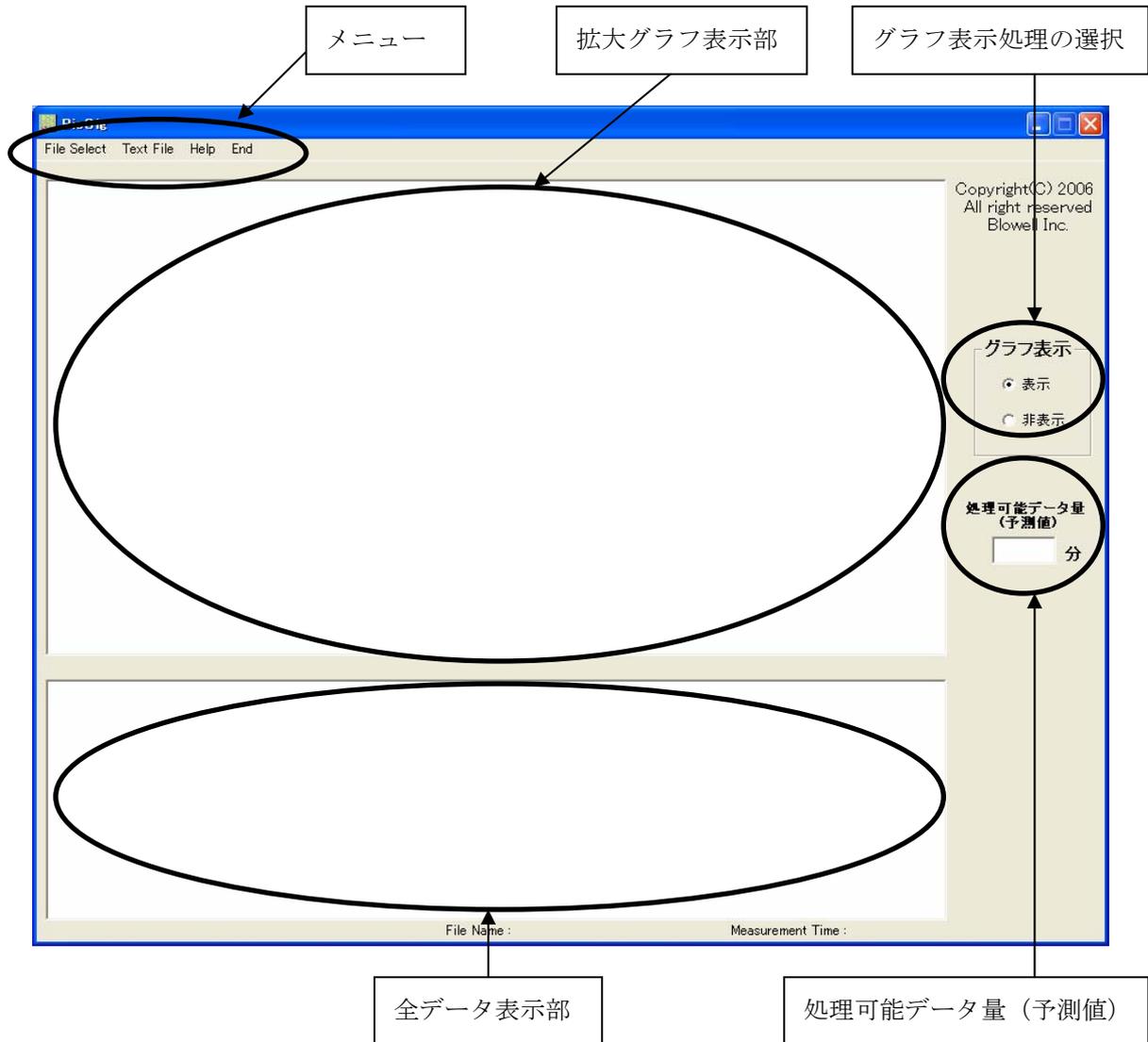


3. 2 スタートからの起動

「スタート」から「BioSig」を起動する。



4. 画面構成



メニュー

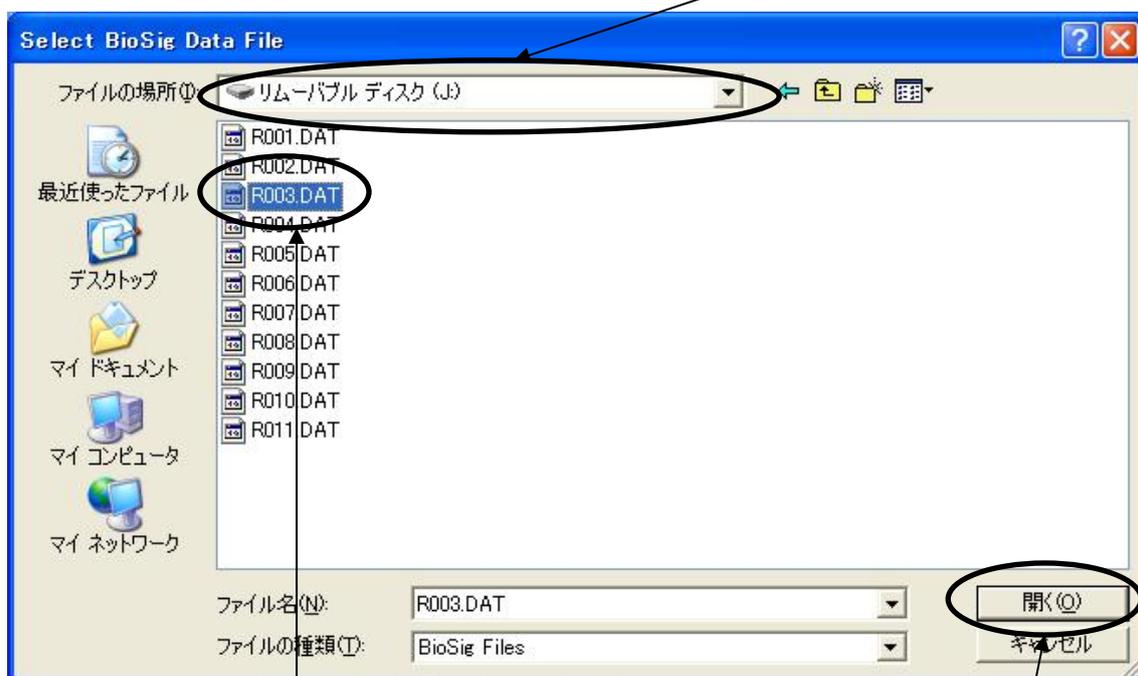
| | |
|-------------|-----------------------|
| File Select | MMC メディアのファイルデータの読み込み |
| Text File | データのテキストファイル出力 |
| Help | Copyright 表示 |
| End | BioSig の終了 |

5. 基本機能

5. 1 File Select

MMC メディアに記録されたデータを読み込み、グラフ表示する。

1. MMC メディアのドライブを指定する

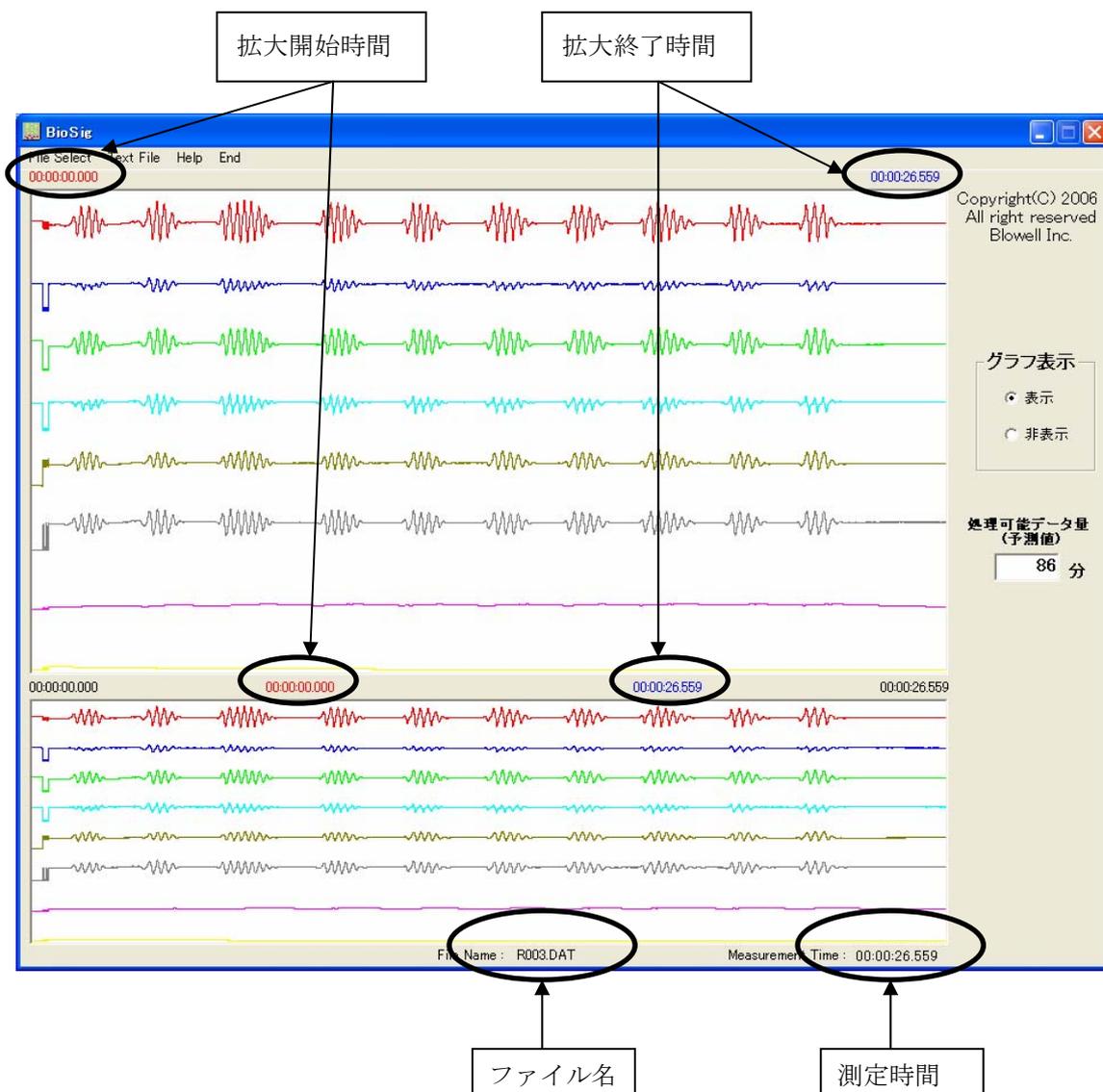


2. ファイルを指定する
(ファイル名をクリ
ックする)

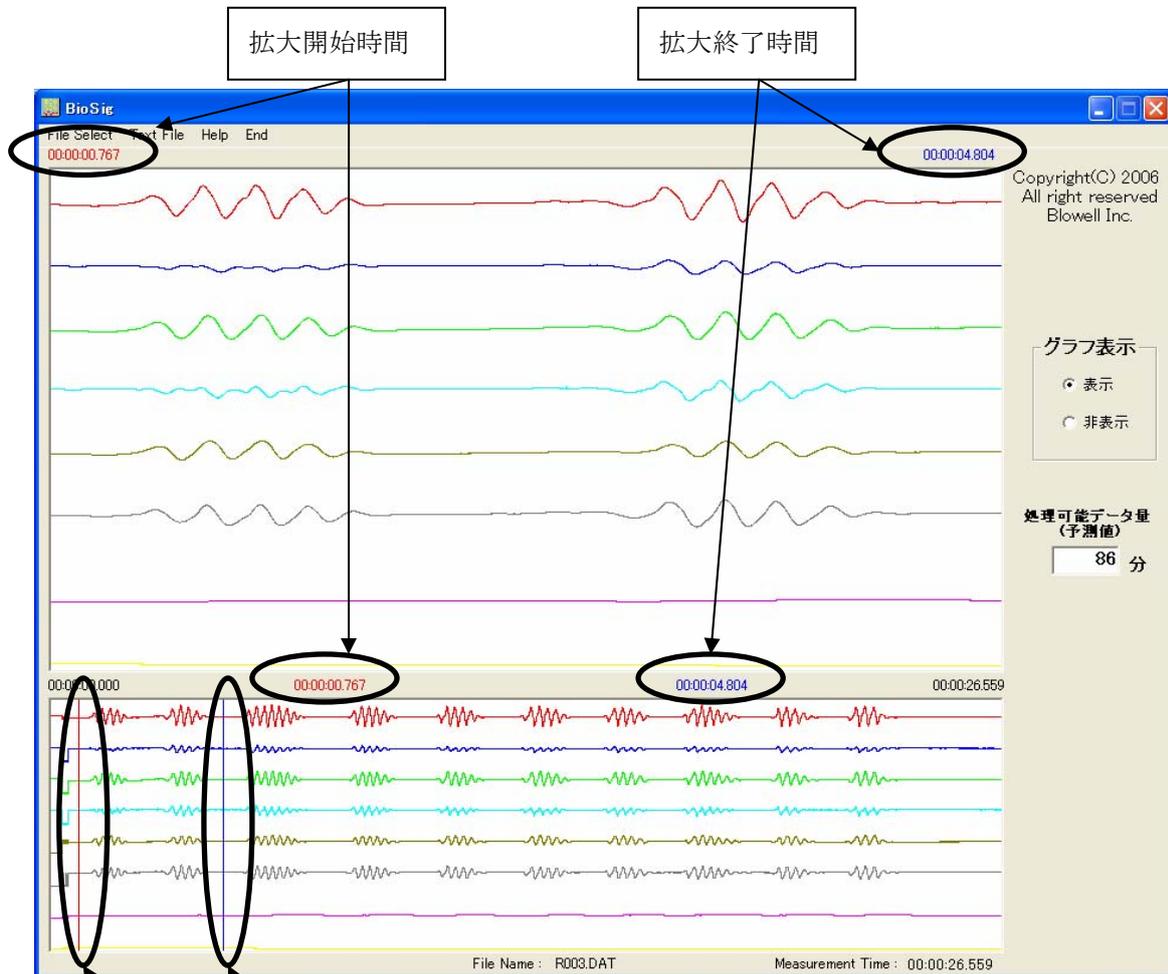
3. ファイル名をダブルクリックす
るか、ファイル名をクリックし
てから「開く」をクリックする

ファイルを開くと、データを読み込みグラフを表示する。

5. 1. 1 グラフ表示



5. 1. 2 グラフの拡大表示



拡大終了点の指定

マウスの右ボタンを押して左右に動かすと、青色の線が表示される。
右ボタンを離すことによって拡大終了点を指定する。

拡大開始点の指定

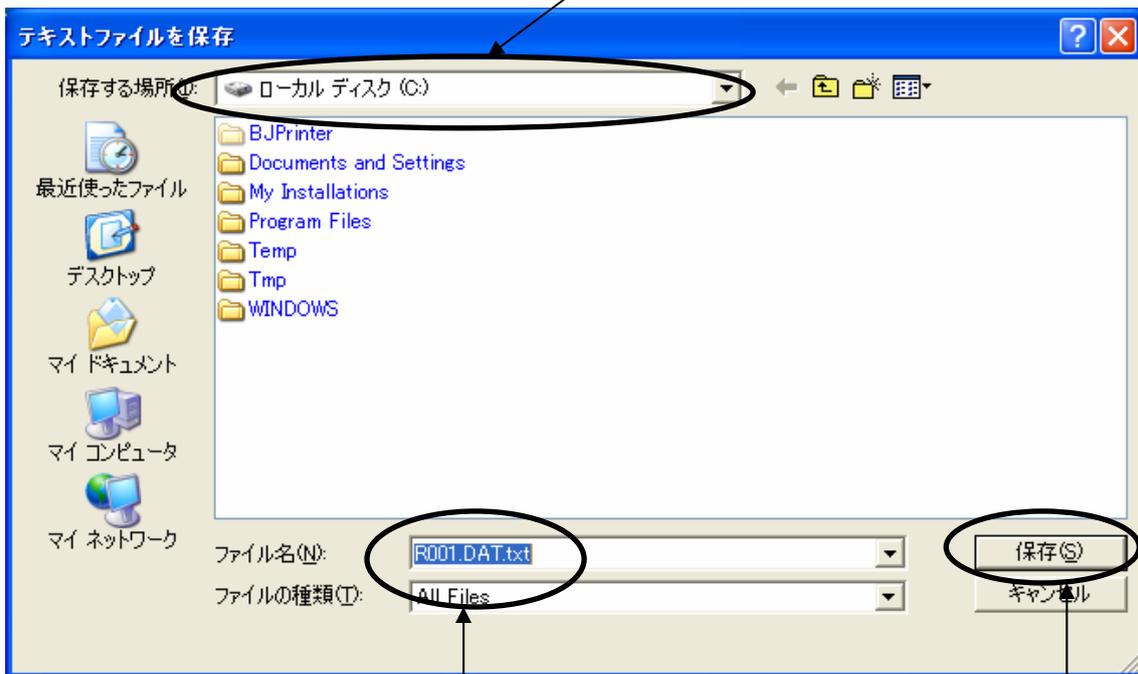
マウスの左ボタンを押して左右に動かすと、赤色の線が表示される。
左ボタンを離すことによって拡大開始点を指定する。

指定した範囲が拡大グラフ表示部に表示される。

5. 2 Text File

データを他のアプリケーションで読み込みできるように、テキストファイルとして書き出す。

1. テキストファイルを書き出すドライブ/ディレクトリを指定する



2. ファイル名は読み込みファイル名に「.txt」を追加した名前となる。必要に応じてファイル名を変更する。

3. 「保存」をクリックして、テキストファイルを書き出す。

5. 2. 1 Text File の形式

測定時間 (単位 秒)、各チャンネルのデータ (単位 Volt)

例

0.000,2.563,2.298,2.500,2.306,0.379,0.000,0.000,0.000

0.001,2.562,2.299,2.501,2.306,0.379,0.000,0.000,0.000

0.002,2.562,2.298,2.501,2.307,0.379,0.000,0.000,0.000

データの区切り記号はカンマがデフォルトになっている。

ブランクやタブを区切り記号とする場合は、BioSig.ini に書かれている設定値を書き換えることによって変更可能である。

6. 処理中断

6. 1 File Select

MMC メディアに記録されたデータを読み込み中に「S」キーを押すと読み込み処理を中断する。
処理を中断した場合、その時点までに読み込んだデータしか処理できない。

6. 2 グラフ表示

グラフ表示中に「S」キーを押すと表示を中断する。
グラフは中断した時点までしか描かれませんが、データは読み込んだ数を保持している。

6. 3 Text File

テキストファイル書き出し中に「S」キーを押すと書き出し処理を中断する。
処理を中断した場合、その時点までのデータがファイルに書き出される。

7. グラフ表示処理の選択

7. 1 表示

読み込んだデータをグラフとして表示する。

長時間測定データの場合、グラフ表示のためにメモリを大量に消費する。

メモリ不足の場合は、データを分割して表示を行なうか、「非表示」を選択する。

7. 2 非表示

データを読み込むがグラフ表示処理を行なわない。

グラフ表示が不要なく、テキストファイルに書き出したい場合に選択する。

8. 処理可能データ量（予測値）

Windows 2000 及び Windows XP の場合に表示される。

あくまでも予測値であるので、表示された時間分の処理が可能であるとは限らない。

目安として表示している。

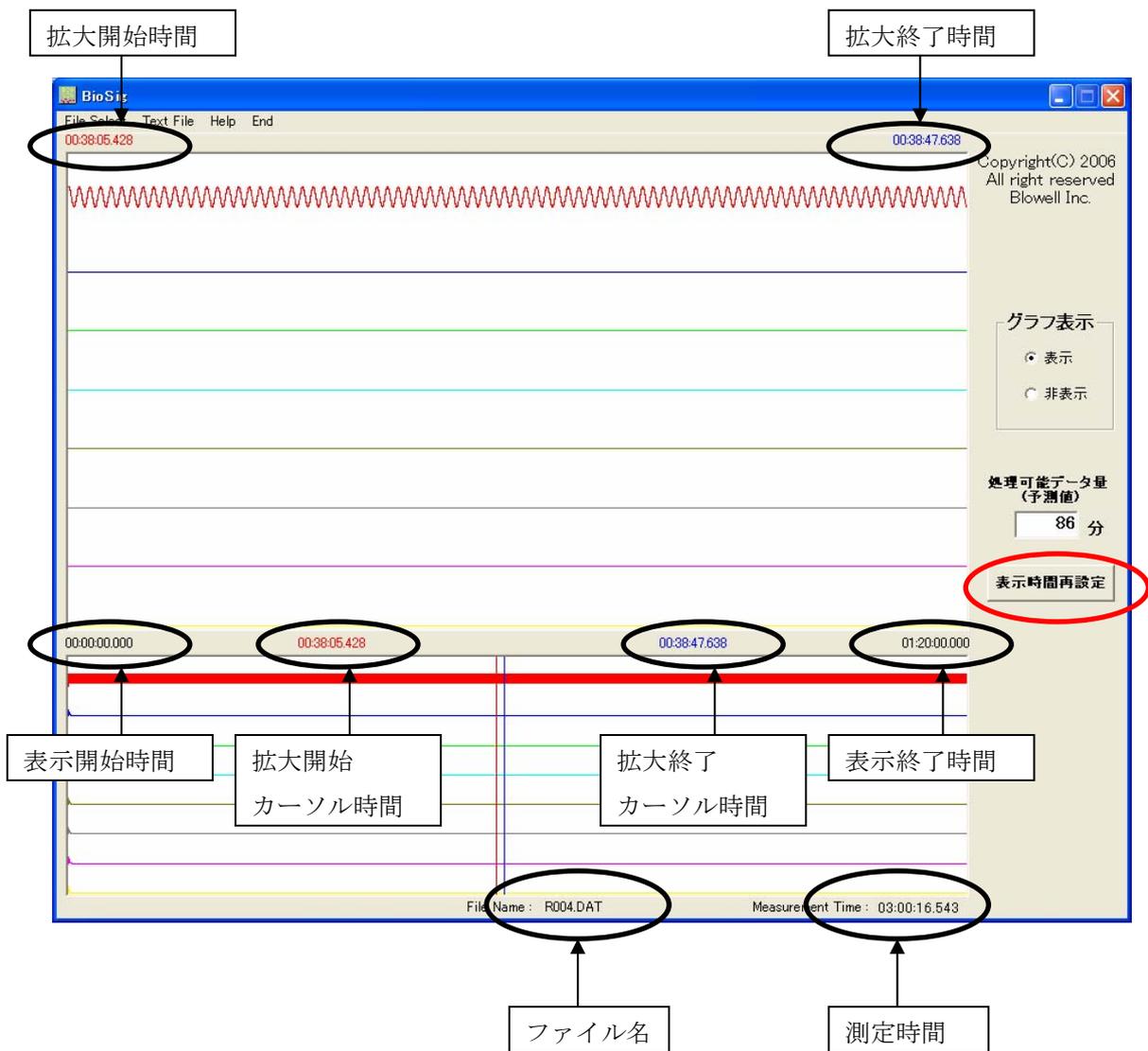
9. グラフ分割表示

グラフ表示に必要なメモリが不足している場合は、グラフ表示を分割して行う。

データはすべて読み込んでいるので、表示の開始、終了時間を変更して、他の部分の表示を行うこともできる。



表示の開始、終了時間を変更する場合は「表示時間再設定」ボタンをクリックし、時間指定のダイアログで再設定する。



10. 仕様

10.1 生体信号測定装置

株式会社 フルサワラボ・アプライアンス

〒350-1141 埼玉県川越市寺尾256-2

TEL 0492-44-9435

FAX 0492-44-9405

10.2 パーソナルコンピュータ

OS Windows2000/XP/Vista

画面 1024 X 768

MMC リーダードライブ

有限会社 ブロウエル

〒350-0323 埼玉県比企郡鳩山町小用 1202-3